

デ・レイケ導流堤に関する検討会（第2回）

議 事 概 要

- 日 時 平成26年3月11日（火）14:30～16:30
- 場 所 筑後川河川事務所 大川出張所
- 出席者 荒牧委員、大串委員、帯屋委員、高瀬委員、阿津坂委員（代理）
古賀委員、石橋委員、野瀬委員（代理）

【主な審議内容】

- これまでの検討状況の報告
- デ・レイケ導流堤に関する確認事項の報告
- 施工計画（導流堤の解体・調査・記録方法）について報告
- 橋梁デザインについて報告
- オープンハウスの実施について報告

→委員了解

検討会から橋梁設計への提言

→以下の事項について確認

- ・デ・レイケ導流堤の歴史的価値を含め、機能などの特性を極力保持」することが重要。
- ・デ・レイケ導流堤の「保全等に対する細心の配慮を要す構造物」にする。
- ・デ・レイケ導流堤の調査・解体にあたっては、「構造物として材料など物理特性が可能な限り明瞭となるよう、慎重に実施」する必要がある。

→委員からの追加提言として

- ・解体した導流堤については、陸部での活用を図る必要がある。

その他委員の意見

- ・導流堤の移設や展示方法など、活用策の提案を行うため、市・商工会議所・NPO 法人大川未来塾が参加する協議会を立ち上げる予定である。
- ・導流堤の調査には、大川市の文化財関係の担当部所も関わってもらいたい。